

2018年5月11日  
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦  
担当ワーキンググループ主査 鈴木 孜

ネパール国スルヤビナック・ドゥリケル道路改修計画（追加調査）  
（協力準備調査（有償））  
ドラフトファイナルレポートに対する助言

**助言案検討の経緯**

ワーキンググループ会合

- ・日時：2018年4月23日（月）14:00～15:59
- ・場所：JICA 本部（1階111会議室）
- ・ワーキンググループ委員：織田委員、鈴木委員、谷本委員、長谷川委員
- ・議題：スコーピング案にネパール国スルヤビナック・ドゥリケル道路改修計画（追加調査）（協力準備調査（有償））ドラフトファイナルレポートに係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配布資料：
  - ・ Additional Study of the Suryabinayak-Dhulikhel Road Improvement Project Final Report Draft
  - ・ Environmental Impact Assessment (EIA) of Suryabinayak - Dhulikhel Section of Arniko Highway Upgrading/Widening Project in Bhaktapur and Kavrepalanchowk Districts (Including Tunnel Road at Sanga)
  - ・ Suryabinayak- Dhulikhel Road Improvement Project Resettlement Action Plan (Draft)”
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

全体会合（第90回委員会）

- ・日時：2018年5月11日（金）14:30～16:48
- ・場所：JICA 市ヶ谷ビル（2階202A・B会議室）

上記の会合にて助言を確定した。

## **助言**

### **全体事項**

1. トンネル内において、地震に起因する場合を含め、事故や火災などに即座に対応する組織・体制作りの一環として、現場における消防や警察、医療機関と合同訓練の実施や国内外の研修などの機会での他国の訓練の実例紹介を、想定されているコンサルティングサービスにおいて行うよう FR に記載すること。

### **社会配慮**

2. PAPs の内、社会的に脆弱な人々や、Dalit（被差別カースト）の人々を正規、非正規の別で FR に整理・記載すること。
3. 社会経済調査（2018 年 1 月）によると移転対象者の 5.5%が金銭補償よりも代替住宅の提供による補償を希望していることから、代替住宅の提供の可否を確認し、さらに、提供が可能な場合は実施の段階で希望者の数を確認する等の代替住宅提供に必要なプロセスを FR に記載すること。

### **ステークホルダー協議・情報公開**

4. 経済評価の際の費用計算では、トンネル掘削に伴う地下水変動への対策など、不確定な影響防止・緩和策のコストがどのように取り扱われたかを FR に記載すること。

以 上